

基本目標1 人権が尊重され、多様な生き方を認め合う社会の形成
施策1-2-(1) 学校における男女平等教育の推進
No. 6 児童・生徒向け啓発パンフレットの作成

児童・生徒向け啓発パンフレットの作成・配布について

1 目的

- ・子どもの頃から、性別による固定的な考え方や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、これにとらわれない意識を育てるとともに、男女平等・男女共同参画への理解を進める。
- ・このことにより、児童・生徒一人ひとりが、性別に基づく固定的な観念に左右されることなく、自らの可能性を主体的に考え、性別にかかわらず誰もが尊重され、生きやすい男女共同参画社会の実現につなげることを目的とする。

2 背景

- ・東京都が実施した「アンコンシャス・バイアス実態調査」においては、年齢が上がるにつれて、性別による思い込みを持つ割合が高まる傾向が確認されている。
- ・具体的には、「性別で向いている・向いていない仕事がある」と考える割合は、小学5・6年生では43.4%であるのに対し、高校1・2年生では66.2%となっている。
- ・また、「男性だから」「女性だから」といった性別による考え方を持つ割合についても、小学5・6年生では41.1%であるのに対し、高校1・2年生では53.9%と増加している。
- ・こうした結果を踏まえ、成長過程において性別に基づく固定的な意識が徐々に形成・強化される傾向が見られることから、価値観が定着する前の段階である児童・生徒期において、年齢や発達段階に応じた意識啓発を早期から継続的に行うことが重要である。

3 実施方法

男女平等意識の醸成に資する啓発パンフレットを、小学生向け及び中学生向けの2種類作成し、教育委員会と連携し、区立小・中学校の児童・生徒に配布する。

4 内容

性別による役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消、互いを尊重する意識の大切さ 等 （※年齢や発達段階に応じ、分かりやすく、身近な事例を用いた内容とする。）

5 予定数量

小学5・6年生向け：5,000部

中学生(全学年)向け：3,000部

6 活用

教育委員会と連携し、各学校における人権教育や道徳、総合的な学習等での活用を促し、児童・生徒が自ら考え、話し合う機会につなげていく。